

子ども虐待を防ぐ養育者支援

～生物学・行動科学的エビデンスからの提言～

DETAILS

日時 **2023年2月22日（水）**
18:30 - 20:00

形式 **オンライン（Zoomウェビナー）**

言語 **日本語**

SPEAKER

黒田 公美 氏
国立研究開発法人理化学研究所
脳神経科学研究センター 親和性社会行動研究チーム
チームリーダー



DISCUSSANT

酒井 吉彦 氏
厚生労働省 子ども家庭局 総務課少子化総合対策室
(併) 子育て支援課 室長補佐

MODERATOR

黒河 昭雄 氏
神奈川県立保健福祉大学イノベーション政策研究
センター研究員（シニアマネージャー）／
JST-RISTEX「科学技術イノベーション政策のた
めの科学 研究開発プログラム」研究推進委員

参加登録はこちら

[https://zoom.us/webinar/register/WN_D
E7L2TsnQUWFoHMGkfgRSA](https://zoom.us/webinar/register/WN_D
E7L2TsnQUWFoHMGkfgRSA)

SciREX Seminar #44

日本の少子化問題については、1994年12月に策定されたエンゼルプランをはじめとして、20年以上にわたりさまざまな対策が試みられてきました。しかしながら、昨年の出生数はついに80万人を割った見通しであり、問題は悪化の一途をたどるばかりです。今回のSciREXセミナーでは、JST-RISTEXプロジェクトから「家族を支援し少子化に対応する社会システム構築のための科学的根拠に基づく政策提言」を取り上げます。

前半に話題提供いただく研究代表者の黒田公美氏は、哺乳動物の親子関係を司る脳のメカニズムに関する研究が専門です。この観点から家族支援や少子化問題にもアプローチし、例えば、哺乳動物が子育てをしなくなる・子を攻撃するようなりリスク要因は人間の児童虐待事例でも高率で見られること、それらが重複しておこった場合に深刻な虐待につながることを見出してきました。この要因間の関係を計算して得られた暫定的なメカニズムからは、重度な虐待を効果的に予防するための養育者支援のポイントも浮かび上がってきたといえます。

今後、実効性の高い対少子化対策の立案には、子育てと子どもの発達に関する自然・社会科学の総合知が一層重要になると考えられます。また親子双方が満足できる生活のため、就労・介護など家族に関わる他の政策との整合性にも配慮が欠かせません。そこで後半は、行政側で少子化対策や子育て支援に取り組む酒井吉彦氏も交えて議論します。いろいろな分野の人と一緒に考えたい重要な問題です。みなさんのご参加、ご意見をお待ちしています。

お問い合わせ

政策研究大学院大学（GRIPS）
科学技術イノベーション政策研究センター
広報担当 scirex-center@grips.ac.jp



SciREX Center



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

ABOUT GUESTS

黒田 公美 氏 KURODA Kumi

国立研究開発法人理化学研究所 脳神経科学研究センター
親和性社会行動研究チーム チームリーダー

東京都出身。2002年大阪大学大学院医学系研究科博士課程修了。一人の母親として、現実の親子に役立つ科学を目指し、2015年より子ども虐待防止のため社会科学系研究者と連携して児童虐待やその支援に関するグループ研究を施行。その研究成果を『子ども虐待を防ぐ養育者支援』として2022年12月刊行。子どもが抱っこして歩くと泣き止む「輸送反応」を子育てに生かす技術開発も行っている。

酒井 吉彦 氏 SAKAI Yoshihiko

厚生労働省 子ども家庭局 総務課少子化総合対策室（併）子育て支援課 室長補佐

平成25（2013）年文部科学省入省。幼児教育、青少年教育、特別支援教育、環境エネルギー分野の研究開発等を担当し、令和4（2022）年8月より現職。現在、妊娠・出産時からの身近な伴走型相談支援と10万円相当の経済的支援を一体的に行う「出産・子育て応援交付金」などの子育て支援策を担当。

黒河 昭雄 氏 KUROKAWA Akio

神奈川県立保健福祉大学イノベーション政策研究センター研究員（シニアマネージャー）／JST-RISTEX「科学技術イノベーション政策のための科学 研究開発プログラム」研究推進委員

東京大学公共政策大学院修了。東京大学政策ビジョン研究センター等で医療イノベーション政策に関する調査研究に従事した後、2016年よりJST-RISTEXアソシエイトフェロー。2019年より現職。その他東京財団政策研究所主任研究員、政策研究大学院大学客員研究員なども務めている。